



琴湖*のほとりに

暮らす人々

No.3

豊かな自然に囲まれた自給自足の暮らしと、コミュニティの絆がしっかりと息づいているまち。その魅力を明るくてあったかい琴海人(きんかいびと)を通して描くことをこころみるシリーズ。第三回は素敵な田舎暮らしを営む西山さんと前田さんご夫婦。



* 昔大村湾は、「琴湖(キンコ)」もしくは「琴の海(コトノウミ)」と呼ばれていた。名づけの由来は、波の音が琴をつまびいでいるように聞こえたから、とも。湖のように静かなので京都の「琵琶」湖に對して、とも。長崎市の、西彼杵半島(ニシソノギハントウ)の、大村湾に面した土地が旧琴海町(キンカイチョウ)です。

【写真】開拓の里 民宿西山の薪ストーブの前で西山さん／ギャラリーまりんっこにて前田さん, 2013.1(撮影: 平井杏奈)

January 18, 2013

Dear Elly

大村湾に光を落しながらのぼってくる朝日や月。晴れていれば雲仙普賢岳のてっぺんのとんがり具合まで見えるというテラス。森に囲まれ海を望む山の上で、石窯でピザを焼ける場所があって、ご一ぎぬつか（琴海弁；とてもあたたかい）人たちがいるんだよ。

ピザ焼く人々

「せっかくやっけん食べていかんですか？」西山さんが笑顔で迎えてくれた。窯はすでにあったまっている。お母ちゃんがアップルティーをいってくれる。蜂蜜を最後に一匙加えると、山の花の香りが湯気とともに立ち上る。薪のはぜる柔らかい音を聞きながら、お喋りをしていると生地の焼ける匂いが漂ってきた。耐火煉瓦のもたらす遠赤外線効果で「表面はパリッと中はしっとり」という最新式オーブンレンジのような仕上がり。ピザのトッピングの野菜もお茶に入れた蜂蜜も窯を焚く薪もすべて琴海産の地場のモノ。誰がどういう風につくっているか顔と様子が思い描けるから、嬉しくありがたくいただいた。

西山さんご夫婦は石窯ピザ焼き体験と田舎体験の宿をしている。他にもさつまいも収穫、炭焼き、本業である西山緑樹園自家製の薪を使った五右衛門風呂など、田舎暮らしの楽しさを体験プログラムという形で一般の人にもオープンにし味わえるようにした。桜や梅、モミジなど、季節によって色とりどりの木々に囲まれたテラスからは大村湾が一望のもとに見渡せる。雲海が見える時もあるらしい。

ふっくりとろけたチーズをピザカッターで切り分けていると、福田さんご夫婦が遊びに来られた。琴海とのご縁は燻製。以前、琴海グリーンツーリズム研究会で燻製づくり講座を開催したとき、講師を務めてくださったそう。西山さんに会いに通ううちに楽しくなって街の自宅に石窯を作ってしまった。今日は初火入れ式に使う薪を買いに来たのだとか。しばらくすると週末Iターンの前田さんも薪を取りに来た。自然の中でのんびりしつつ、元調理師のお父ちゃんが自家製の石窯でとてもおいしいピザを焼いているそうだ。

街には田舎にはないものがある、
田舎には街にはないものがある。

西山さんが所属している琴海グリーンツーリズム研究会は、「琴海の美しい自然を守り、



【写真】「景色を見てくださいでもどうぞ、ご自由に見てってください」と西山さん。テラスからの朝焼け前の空と海
2012.12(撮影：西山恒顕)

住む人・訪れる人、みんなで楽しもう」と様々な活動を展開している。都市部から訪れる人にはマスツーリズム¹では味わえない充実した余暇を、迎える地域の人々にとって街との交流による地域おこしと地域資源の再発見・活用を目指して。

街には人口の集積による利便性があふれている。情報や資金や労働が集約されることによって、日常の買い物から病院などのサービス、ライブや展覧会の機会、仕事さえ多様で多彩なものの中から条件の許す限りで気に入ったものを選べばいい。きちんと管理され、絶え間ない競争により洗練されてゆく場所。一方、田舎には断片化されていない良さがある。コントロールしきれない自然ゆえ、生と死が分離されない生活ゆえに、コミュニティによって下支えされ、地域とともに生きる文化が息づいている。世代と世代、人と人、人と自然とのつながりが実感できるので、暮らすことや生きることの感覚が鮮明だ。そして地に足の着いた安心感からか、よそからの人をどーんとあたたかく迎えてくれる。

緑の中でつながっていく縁

前田さんご夫婦のところにも後日お邪魔させてもらった。佐世保から週末Iターン。金曜日にやってきて、週末のんびりし、月曜日に帰ってゆくらしい。おふたりは家庭菜園を楽しみながら「森のギャラリーまりんっこ」を開いている。お母ちゃんのまり子さんが樹脂粘土や陶芸作品を作り、お父ちゃんの隆人さんがピザを焼いている。お茶を飲んでピザを食べて作品を眺めてお喋りして、と近所の人が息抜きに来てくれるという。琴海は地場のおいしいものが直売所で安く手に入るので、秋には「秋の収穫まつり」として常連さんたちとカキ焼きをするのだとか。他にもこれから「春の花まつり」など自然の中の楽しみを実行していくみたいそう。そんな話をしていると近所のお母さんと小さな女の子が「まりこーん！」と訪ねてきた。



Lots of love Anna



【写真上】手前；陶芸新作のトロ
奥；樹脂粘土クラフトの胡蝶蘭
2013,1撮影；平井杏奈

【写真中】まりんっこさんところのピザ

【写真下】樹脂粘土クラフトのクローバー
どこかに四つ葉が隠れている、
中・下ともに 2012,12(撮影；平井杏奈)

¹日本では団体旅行と捉えられることが多い。かつて少数の富裕層のものであった旅行だが、交通機関の発達などにより多くの人が廉価で楽しめるものになった。「一度に多くの人が」という特性上、地域の富の獲得にも寄与する一方、自然環境の破壊や観光地の疲弊、パッケージ化による文化の変容なども指摘されている。

【西山緑樹園 ／ 体験民宿 開拓の里 西山】

【石釜ピザ焼き体験】西山緑樹園自家製の薪や炭で焼く石釜ピザ焼体験ができます。

受け入れ時間・時間帯	通年
所要時間	3 時間
対象者	小学生以上（小中学生は保護者同伴）
受け入れ可能人数	最少 4 人／最大 12 人
料金	2500 円／人

【さつまいも収穫体験】「芋づる式」の言葉を体感できます。収穫体験に焼き芋も。

受け入れ時間・時間帯	10 月中旬～11 月中旬
所要時間	2 時間
対象者	どなたでも（幼児、小中学生は保護者同伴）
受け入れ可能人数	最少 2 人／最大 40 人
料金	500 円／人（幼児無料。お持ち帰りの芋は別途料金）

【五右衛門風呂体験】薪を使って五右衛門風呂を沸かし、温まります。

受け入れ時間・時間帯	夏を除く季節
所要時間	2～3 時間
対象者	小学生以上（小中学生は保護者同伴）
受け入れ可能人数	最少 2 人／最大 4 人
料金	1000 円／人 小学生 500 円／人

【炭焼き体験】昔ながらの炭窯で、炭焼きを体験します。

受け入れ時間・時間帯	冬期間の設定日
所要時間	1 日
対象者	小学生以上（小中学生は保護者同伴）
受け入れ可能人数	最少 1 人／最大 10 人
料金	3000 円／人 小学生 2000 円／人

実施場所 長崎市琴海村松町 2359-4
問い合わせ先 西山緑樹園 Tel/Fax ; 090 (3734) 7474

【森のギャラリーまりんっこ】おいしいピザを食べてギャラリーでのんびり。

営業日	土・日・月 11～17 時（電話予約は時間外 OK です）
ギャラリー	Tel ; 090 (1369) 2864
石釜ピザ	Tel ; 090 (8355) 4045 L サイズ(27cm)1000 円／枚 S サイズ(20cm)500 円／枚
住所	長崎市西海町931 番地 26
(website)	『森のギャラリーまりんっこ』 http://marinkko.blog105.fc2.com/

【琴海グリーンツーリズム研究会】お問い合わせはメールでお願いします。

(website) <http://www.kinkaigt.com/>
(Email) kinkai.greentourism@gmail.com

Access Map

